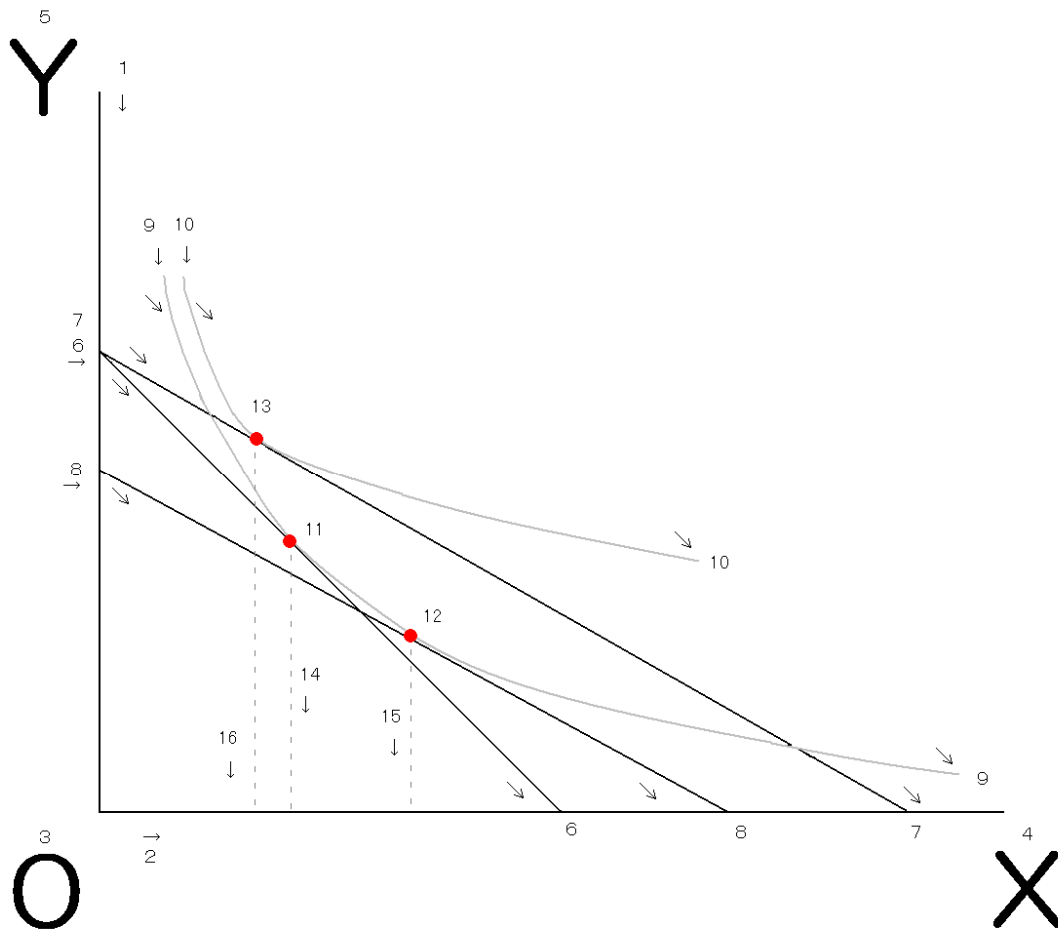


# ギッフェン財 作画練習 (1)

「横軸 (X財) がギッフェン財。横軸の財 (X財) の価格が下落 (↓) したケース」

【 第1ステップ 】 グラフが何を意味しているかを理解しましょう。



1, 2, 3, 4, 5 → グラフの縦軸、横軸、原点を描きます。

6 はじめの予算制約線です。

7 横軸 (X財) の価格が「低下」したため、予算制約線の傾きは緩やかになります。

8 代替効果は「価格比の変化」を表します。「6→8」の線の変化を見ながら、「価格比変化、代替効果」と繰り返しましょう。所得効果は「実質所得の変化」を表します。「8→7」の平行シフトを見ながら、「実質所得、所得効果」と繰り返しましょう。

9 無差別曲線を描きます。11の点は「はじめの最適消費点」、12の点は「代替効果」を表します。

10 右上にある、より高い効用を表す無差別曲線を描きます。このとき、7の予算制約線と接する13の点が重要です。

★ ギッフェン財なので、「11」や「12」よりも左に位置するように描いてください。

↓

(まとめ) 横軸 (X財) の消費量の変化をみていきます。

最初の消費量→ 11の点から横軸に点線14を引いて、価格変化の前の消費量 (例: X1と書く) を確認してください。

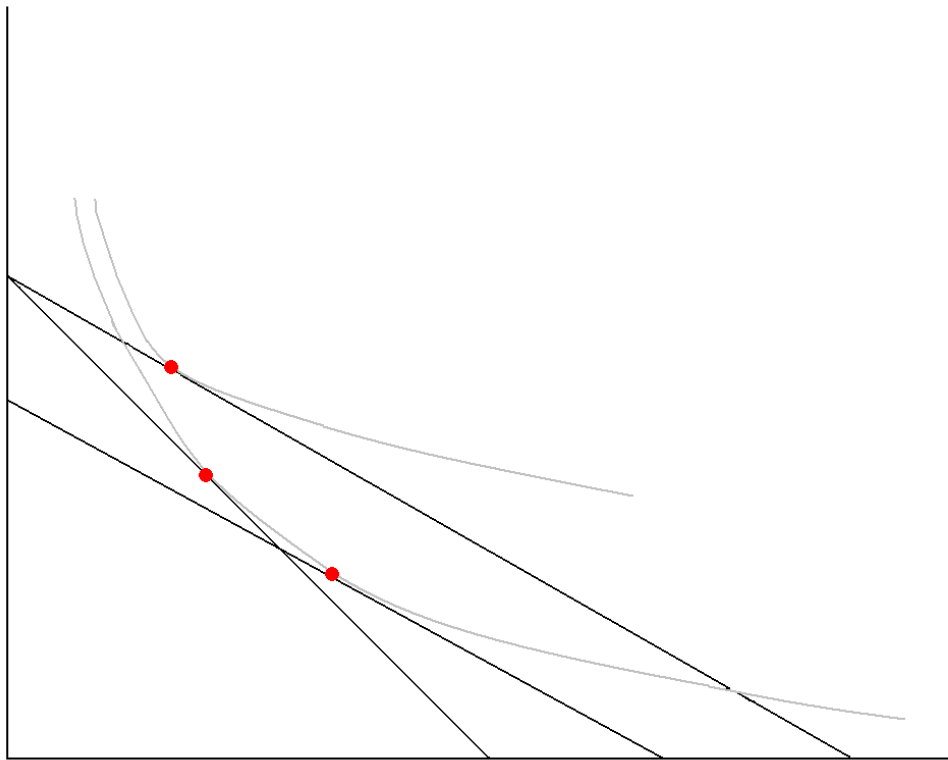
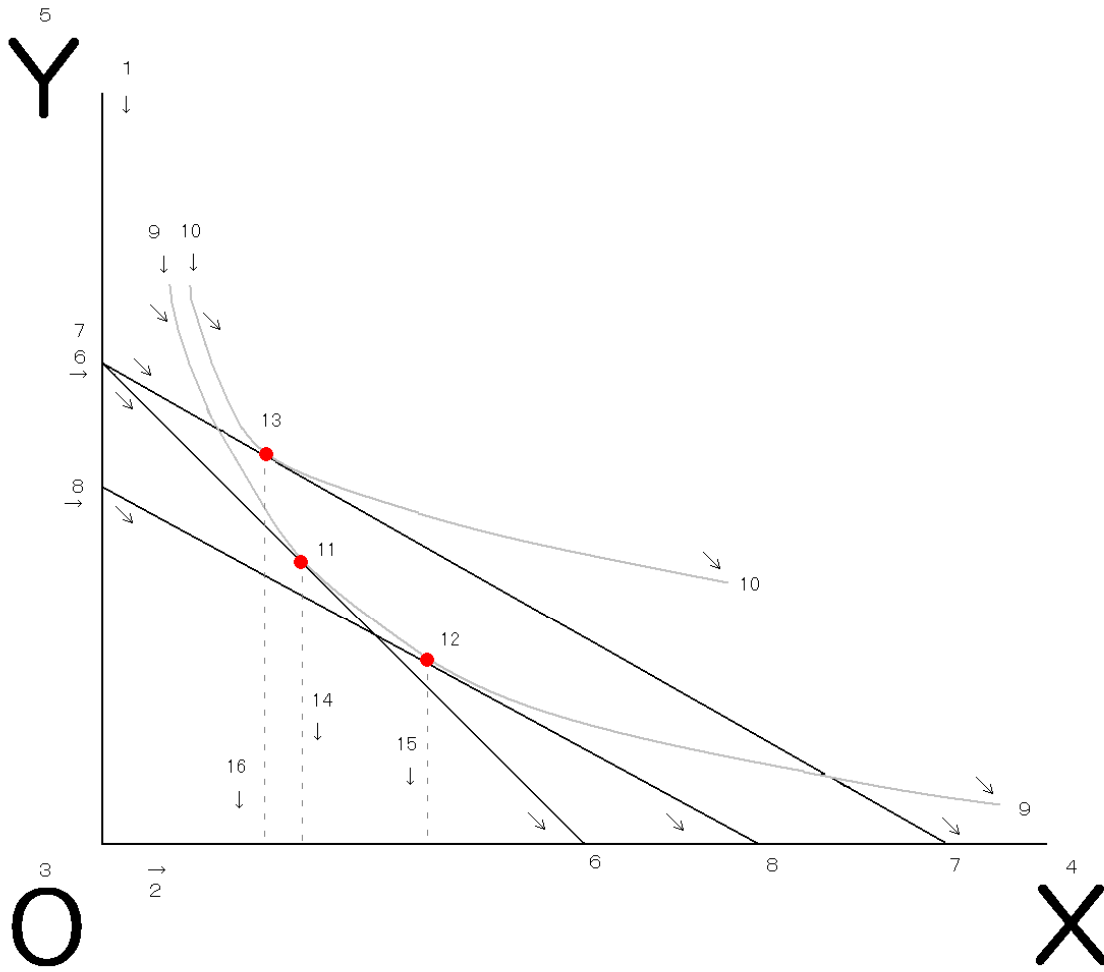
代替効果→ 12の点から横軸に点線15を引いて、代替効果のみたときの消費量 (例: X2) を確認してください。

所得効果→ 13の点から横軸に点線16を引いて、所得効果のみたときの消費量 (例: X3) を確認してください。

全部効果→ 「11→12 (X1→X2)」が代替効果、「12→13 (X2→X3)」が所得効果、「11→13 (X1→X3)」が全部効果です。X財の価格が低下したことによって、普通ならば増えるはずのX財の消費量が、逆に減っています。

これが「需要の法則」があてはまらない「ギッフェン財」です。

【 第2ステップ 】線をなぞって描いてみましょう。



【 第3ステップ 】 描いてみましょう。



( この下に描いてみましょう。 )

以上は「横軸 (X財) がギッフェン財。横軸の財 (X財) の価格が下落 (↓) したケース」です。他のケースも確認しておいてください。